

平成17年度資源評価票(ダイジェスト版)

標準和名 ニギス

学名 *Glossanodon semifasciatus*

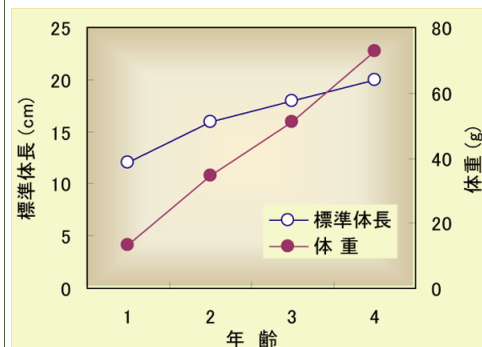
系群名 日本海系群

担当水研 日本海区水産研究所



生物学的特性

寿命: 5歳
成熟開始年齢: 1.5歳
産卵期・産卵場: 周年産卵、産卵のピークは春季と秋季、産卵場は不明
索餌期・索餌場: 周年、水深100～200mで索餌
食性: オキアミなどの浮遊性小型甲殻類
捕食者: ヒラメ、ソウハチ、ムシガレイ、アカムツ等が報告されているが、詳細は不明

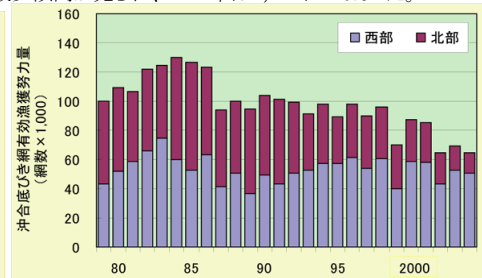
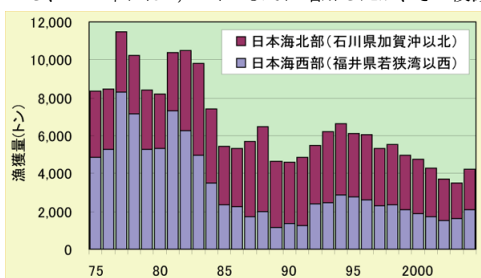


漁業の特徴

本種の主な漁場は青森県～島根県の日本海沿岸と、愛知県および高知県の太平洋沿岸であるが、日本の漁獲量の7～8割が日本海沿岸で水揚げされている。本州沖合の日本海において、本種は水深100～200mに分布しており、主として沖合底びき網、小型底びき網で漁獲されている。

漁獲の動向

漁獲量の推移をみると、1975年以降では1977年の11,463トンピークに、1983年までは8,000～12,000トンで変動していた。しかし、1984年以降減少し、1989～1991年には5,000トン以下にまで落ち込んだ。1992年以降はやや増加し、1994年には6,600トンまでに増加したが、その後減少傾向が見られ、2004年は4,200トンであった。

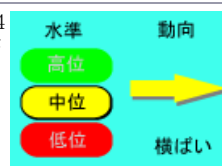
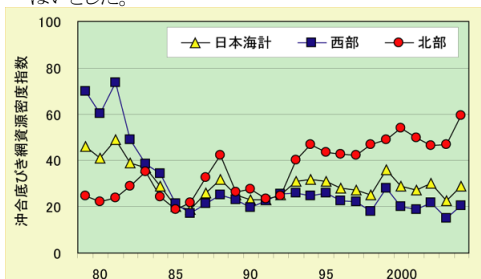


資源評価法

沖合底びき網漁業の漁獲成績報告書に基づき、日本海北部(石川県加賀沖以北)と日本海西部(福井県若狭沖以西)および日本海全体の沖合底びき網の資源密度指数の推移(1979～2004年)を基に、主漁場の漁獲状況を参考にして資源評価を行った。

資源状態

2003年沖合底びき網1そうびき(沖底)の資源密度指数の低下も一時的なものであり、2004年は再び中位水準となった。日本海北部における資源密度指数は引き続き良好な値を示していること、主漁場の資源状態も良好であることから、漁獲圧は現状の漁獲圧を維持しても、資源の急激な悪化を引き起こすことは無いと判断した。そこで、最近3年の平均漁獲量をABClimitとし、その8割をABCtargetとした。



管理方策

日本海全体の沖底の資源密度指数は再び中位となった。漁獲量の半分を占める北部の資源密度指数は良好な値を示していること、主漁場の資源状態も良好であることから、漁獲圧は現状の漁獲圧を維持しても、資源の急激な悪化を引き起こすことは無いと判断した。そこで、最近3年の平均漁獲量をABClimitとし、その8割をABCtargetとした。

2006年漁獲量 管理基準 F値 漁獲割合

ABClimit	3,800トン	Cave3-yr	-	-
ABCtarget	3,000トン	0.8Cave3-yr	-	-

資源評価のまとめ

- 2003年の沖底の資源密度指数の低下は一時的なものであった
- 主漁場の資源状態は悪くない
- 漁獲量の半分を占める北部の資源状態は良い
- 資源水準は中位、動向は横ばい

管理方策のまとめ

- 漁獲圧を現状以上にしない

資源評価は毎年更新されます。
2005.12.7更新